

「各種統計」9月分のデータを更新しました。

●工業統計を基にした日本の印刷産業の概況を掲載

1. 印刷産業の位置・規模(平成26年工業統計 産業編)

印刷・同関連業(印刷産業)の事業所数は、製造業24業種中、「金属製品」「食品品」「繊維工業」「生産用機械器具」に次ぎ5番目に多く、全製造業の6.5%を占めています。印刷産業の平成26年の出荷額は前年比0.2%減少し5兆5365億円となりましたが、印刷業は0.3%の微増となりました。

業種	事業所数	%	従業者数	%	出荷額	%
印刷・同関連業	25,843	▲ 4.4	297,776	▲ 3.0	5,536,486	▲ 0.2
印刷業	20,735	▲ 4.0	248,554	▲ 2.3	4,976,194	0.3
製版業	1,383	▲ 9.2	19,692	▲ 5.8	304,242	▲ 4.1
製本業	1,795	▲ 4.5	16,653	▲ 3.3	146,502	▲ 0.4
印刷物加工業	1,684	▲ 4.1	11,174	▲ 6.6	93,831	▲ 5.1
印刷関連サービス業	246	▲ 8.6	1,703	▲ 25.4	15,718	▲ 23.9

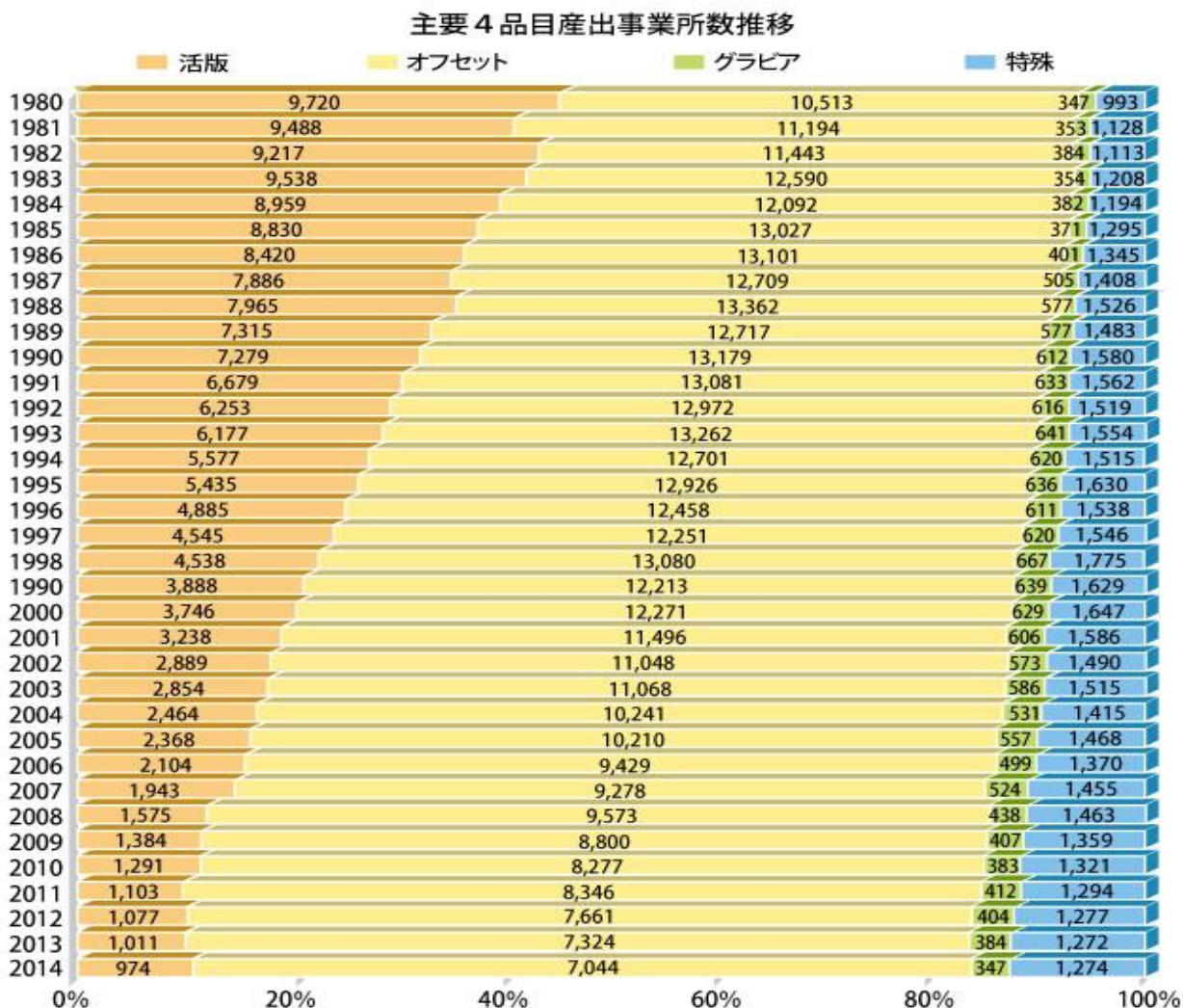
資料: 経済産業省 平成26年工業統計表・産業編

(注)

- ・製版業とは、主としてオフセット版、とっ版、グラビア版、スクリーン版などの印刷原版又は刷版を製造する事業所をいう。
- ・印刷物加工業とは、主として印刷物の光沢化工、裁断、箔押しなどの加工を行う事業所をいう。
- ・印刷関連サービス業とは、主として校正刷り、刷版研磨などの印刷・同関連業にかかわる補助業務を行う事業所をいう。
(日本標準産業分類より)

2. 印刷産業の産出品目(平成26年工業統計 品目編)

平版(オフセット)印刷物は全製造業の品目で最も多い事業所数となっており、47都道府県中26都道府県で最も事業所数の多い品目となっています(7,044事業所)。特に東京都では印刷産業が1位を占めています。



資料: 経済産業省 平成26年工業統計表・品目編

(注)

- ・経済産業省の工業統計表・産業編は全事業所を対象とした統計、品目編は従業員4人以上の事業所を対象とした統計。
- ・特殊とは、紙以外のものに対する特殊印刷物をいい、紙以外の印刷業とは、主として紙以外に各種の印刷を行う事業所をいう。
○プラスチックフィルム印刷業；金属印刷業；布地印刷業（日本標準産業分類より）
- ・インバウンド関連については、こちらをご覧ください。⇒ [じゃぱにうむ更新情報](#)
- ・詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」および年報「マーケティング・データ・ブック」をご覧ください。

●経済産業省の生産動態統計を基にした印刷業の最近の動きを掲載

経済産業省が発表した9月の生産動態統計によると、従業者100人以上の印刷業の生産金額は前年同月比2.7%減少となりました。
[詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」をご覧ください。](#)

	2016/9	2016/1-9
印刷産業生産金額 百万円	32,703	288,639
同 前年同月(期)比 %	▲2.7	▲1.9

●経済産業省の生産動態統計を基にしたインキ、機械、紙などの最近の動きを掲載

経済産業省が発表した9月の生産動態統計によると、印刷インキの生産量は前年同月比7.1%増加、産業用デジタル印刷機を除く印刷機械の生産台数は0.0%、紙の生産量は1.3%減少となりました。
[詳細は隔月刊誌「印刷産業関連データ」をご覧ください。](#)

	2016/9	2016/1-9
印刷インキ生産量 t	30,420	256,536
同 前年同月(期)比 %	7.1	0.4
印刷機械生産台数 台	231	1,812
同 前年同月(期)比 %	0.0	▲1.2
紙合計生産量 t	1,233,204	11,044,594
同 前年同月(期)比 %	▲1.3	▲0.7

印刷機械生産台数は産業用デジタル印刷機を除く。

印刷機械、紙合計はリンク係数により前年同月比を計算。